



# 「虹の森」通信

3月号 第41号

発行日 : 2020年2月18日

発行 : 虹技株式会社

環境安全管理部 環境管理G

姫路市大津区勘兵衛町4丁目1

TEL 079-236-3224

## 近年ない!

暖冬となっていますね。先月号で年末に雪遊びが出来なかったと嘆きましたが、これを書いている現時点でも雪遊びが出来ずにいます。先週、4~5日ほどチョット冷え込みましたが、本日13日は春の様に暖かで、冬の服装では暑くてたまりません。梅の花もすでにあちらこちらで満開ですし、冬は終わりに近づいたかのようです。タイトルバックはきれいな青紫の「リュウノヒゲ」の実です。正式名は「ジャノヒゲ」と言うらしいですが、リュウ(龍)にはヒゲがあっても、ジャ(蛇)にヒゲはないだろうと突っ込む人もいたりして、「リュウノヒゲ」の方がしっくりくる気がしますね。園芸でグラウンドカバーに使われることが多いので、なじみのある草ですが、こんなにきれいな実をつけるのですね。



こちらの美味しそうな実は、「フユイチゴ」。いわゆる野イチゴの仲間ですが、真冬に実を付けるのはこいつだけです。野イチゴは美味しそうに見えてもすっぱく、渋みがあったりするのですが、この「フユイチゴ」は美味で有名です。ジャムやケーキの飾りにもピッタリみたいですよ。



このほんのりピンク色の小鳥は、この辺りに冬季だけ滞在し、越冬する「ウソ」です。ウソとはちょっと悲しい名前ですが、古語で口笛のことを「うそ」というらしく、ヒーヒーと鳴き声が口笛のように聞こえることから名づけられたそうです。この写真はウソの中でも「アカウソ」と呼ばれるオスのようですが、「ウソ」に「アカ」が付くとますます大ウソつきみたいで可愛いイメージとは裏腹でかわいそうです。

下の写真は久しぶりに、カメラに収まってくれた「ニホンリス」くん。可愛いですね。ピコンと立った耳の毛がなぜかバテン状になっているのが気になります。冬眠はせずに越冬するんですね。えらいです。



# 環焼爺(びびい)のつぶやきコラム



ぶつぶつ

いやあ、ニュースは新型コロナウイルスの話題で持ちきりじゃな。中国の情報はどこまで信用できるかわからんが、感染被害者数を多めに言うことはないじゃろうから、現実はまだ被害が大きいと考えると、中国国内はもうすでにパンデミックの様相を呈しているの。とうとうWHOは新型コロナウイルスによる肺炎に名称を付けよった。COVID-19(コヴィッド19)というらしい。なんかかっこいい感じに違和感がある。おかげで、環境関連のニュースはここところめっきり減ってしもうて、ぼやくネタにも困る始末じゃ。しかしなんじゃな、巨大客船の皆さんは別にして国内での感染者数はまだまだ多くはない。ジャンボ宝くじの1等に当たる確率くらいの少ない人数じゃ。なのに、先日大阪に出かけたら道行く人の7~8割はマスクをしておった。

実は、マスクでは予防効果はあまり期待できん。人ごみの中など、一定の環境下で多少は役立つかもしれないという程度じゃ。本来、感染している人が他人にうつさないためにするのがマスクの効果じゃ。誰が感染しているかわからんし、皆がマスクをしている状況は一見安心のように思えても、今起こっているマスク不足の状況を見ると、本当にこれでいいのか？と言いたいのお。なんとかならんじゃろうか。



前号、前々号と、怒りに身を任せ、ぼやきにぼやいたので、今回は少し冷静に環境について考えてみましょう。元々、わしは若いころから友人たちにはり

べらるな考え方をすると言われてきた。冷静沈着さが売りなんじゃ。右にも左にも偏らず、保守派でもタカ派でもない。自分で情報を咀嚼してから発言する方なんじゃ。ただ、主に情報を得るマスコミがどこも頼りのうて、偏りが激しかったりして、苦勞するんじゃ。

今回は、ICPP(気候変動に関する政府間パネル)が定期的に出している評価報告書にちょこっと載っておる気候変動への「適応」についてつぶやくぞ。

ご承知のとおり、この報告書によれば、地球の温暖化は人間の活動によって増加するCO<sub>2</sub>等によって引き起こされ、そのまま放置すれば、今世紀末までに、平均気温が最大4.8℃、平均海水面は最大82cm上昇するということじゃ。その結果、様々な気候システムに大きな変化をもたらし、大変なことになるぞと警鐘を鳴らしておる。そして最後に、我々は何をすべきかという結論として、「緩和」と「適応」を組み合わせるべきとたたみ込んでおる。

ところがじゃ、マスコミや各種団体の活動報告などを聞いておると、そのほとんどが「緩和」の話しじゃ。つまり、どうやってCO<sub>2</sub>を削減させるかということばかり。CO<sub>2</sub>削減が地球を救うという、ある意味、一辺倒的な発言が目立つ。グretaさんの主張もこれに偏っておろう。

でもな、地球の長い歴史から見れば、温暖化も氷河化も、地殻変動も、隕石到来も、みなそんなに珍しい事じゃない。幾度も繰り返されてきたそれこそ自然なサイクルで、この温暖化が人間由来だったとて、その人間も地球の一部であるし、「救おう」なんて大上段に構えられたところで、地球にとってはただのはた迷惑かもしれないじゃろ。

我々人類が、地球を「救おう」なんて大それた偉そうなことを叫びまわるより、「適応」についてもっと前向きに考え、温暖化によるメリットを最大限引き出す努力をすべきじゃないかと思うがな。



例えば、温暖化により、農産物の生産量は飛躍的に伸びることが予想される。もちろん局部的には壊滅的打撃を受けるところもあるだろうが、地球規模で考えれば農地に適さない広大な寒冷地であった土地も、農産物栽培のパラダイスになる。雪で半年は閉ざされていた農地が一年中栽培可能になる。日本全国で二期作、二毛作が可能となるじゃろう。SDGsの貧困の解決にもある意味、温暖化が一番効き目があるはずじゃ。

暖冬のこの冬は野菜が豊作で、スーパーでも消費者には嬉しい値段になっておる。家庭菜園をしている人も豊作すぎて、さばくのに困ってるといふ。わしが先日もらった巨大白菜は、食べ切るのに1週間かかったぐらいじゃ。

ICPPでは、海水面が上昇するぞと脅すが、最大でも82cmとは、あまり迫力がないのお。北極は海に浮かぶ氷じゃから、いくら溶けても海面上昇せんじゃろ。南極大陸に積もっている雪が溶ければ、海面上昇する原因にはなるが、マイナス30℃より低いような地域で平均気温が5℃上昇したとて、積もった氷が溶けるはずもなく、これは海面上昇は大したことがないと言っているようなもんじゃ。弊社工場を囲む海の潮位変化は毎日1m以上あり、高潮の時は2m50cmほど引きあがったこともある。80cm上がることで壊滅的な影響を及ぼすとはとても思えんけどな。

じゃあツバルはどうなるんじゃ？と、のたまう輩もおるじゃろうが、ツバルという国はちと特殊でな、大東亜戦争時代にアメリカ軍がサンゴ礁の上にサンゴ礁の破片を重ねて急造の滑走路を建設したもので、地

盤がぜい弱なんじゃな。それであちらこちらで地盤沈下を起こしておる。沈む原因は海面上昇ではなく、地盤沈下じゃ。もともと天然資源が殆どなく、飲み水に適した水も殆どないために農業もできない貧しい地域なんじゃ。米軍の駐屯が唯一の産業だったような場所で、若者の大半は出稼ぎで稼いだ金を送金して成り立っておるような国じゃ。人口は1万人にも満たない。貧困極まりない軍事拠点にしがみつくとより、温暖化によって拡大する豊かな農地へと移住することの方が現実的とわしは思うな。農地拡大には労働力は不可欠じゃ。それでも、水没はかわいそうというなら、中国に頼めば、いくらでも軍事空港の埋め立てをしてくれるじゃろ。



さらに真夏の暑さの問題は、もっと簡単じゃ。それには夏季の生産活動を縮小するんじゃ。さすれば冷房に使うエネルギー使用も減るじゃろ。まさに働き方改革じゃよ。これからは年中生産できる気候の良い地域に生産拠点を移せばよいだけの話じゃ。雪に閉ざされてじっとしているしかなかった北国も開放されて年中活動可能な地域になる。夏には、暑い地域から寒い地域に出稼ぎに出る。解放された雪国は農作物の生産もぐーっと上がるので食料問題もなしじゃ。

ICPPがわざわざ報告書の最後に「適応」を考えましようと思いついてくれているのに、だれもかも「緩和」策しか考えようとしな。この風潮がそもそも違っとる。なにか全体主義がカルト宗教のような危うささえわしは感じるがの。

せめて、SDGsを掲げる企業には、温暖化をポジティブに捉え、貧困解決につながるような活動を推し進めてほしいものじゃ。

ぶつぶつ

## 虹の森なう

さてさて、今回は前に伐り倒した場所で2ヶ月乾燥させたコナラの木を、約1mの長さに玉切りして、降ろす作業でした。技術部の新入社員高山君が初参加です。その大きな身体から、きっとポイポイと木を下ろしてくれるだろうと期待していました。その力持ちでも慣れない急斜面の作業には苦労したようで、休み明けの月曜日は筋肉痛で妙な動きをしていました。活躍したのは、送風機の伊藤さん。急斜面をものともせず、次々と木を下ろしてくれました。その軽やかな動きは正におサル級でした。お見事！



玉切りは、的場リーダーと長谷川さんが行ってくれましたが、なにしろ公園職員の森脇さんが頼もしい。そして、新しい職員さんかな、女性職員さんも参加して作業を手伝ってくださったのでとても助かりました。

ワーワー言いながらの共同作業で、すべてのホダ木を下まで降ろし、板伏せにしたところ、なんだか例年よりちょっと少ないような。結構な本数を伐り倒し



たはずなのに、おかしいなあ。玉切りして固めると、少なく思えます。でもまあ、太い木が多いので、植菌数は例年通りくらいかな。

昼からはツリーデッキ周りの階段遊歩道の補修整備を行いました。

ツリーデッキも3年経ち、木が痩せて隙間が空いてきちゃったので、この補強もしなきゃなと思っているところです。



## 第54回 森林整備の案内と参加者募集

今回は、シイタケ菌の植菌を行います。自分で植菌したホダ木には愛着がわきますよ。良い原木シイタケを出して頂戴ねと、優しい気持ちになります。植菌作業の後は虹の森に移動し、芽吹き始めた新緑のおいしい空気を吸いながらの整備作業となります。

**日時：** 3月14日(土) 10:00~15:00 (9:30公園駐車場集合)

**場所：** 県立ゆめさきの森公園(虹の森)

**申し込み：** 参加希望者は、環境管理G 的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。  
的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。

※小雨は決行。天候が荒れそうな場合は前日夕方に、中止のメールを携帯に送信いたします。